

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : Modesta - CC Cerium Compound
製品コード : 00862
製品グループ : 取引製品

会社情報

製造業者

株式会社モデスタ

761-8075

日本香川高松市東ハゼ町 20-3

www.modesta.co

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 気体)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)	区分に該当しない
	皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分に該当しない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分 2 (肺)
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (肺)

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

環境に対する有害性	誤えん有害性 水生環境有害性 短期（急性） 水生環境有害性 長期（慢性） オゾン層への有害性	分類できない 区分 3 区分に該当しない 分類できない
-----------	---	--------------------------------------

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険
危険有害性 (GHS JP) : 臓器の障害のおそれ (H371)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害 (肺) (H372)
水生生物に有害 (H402)

注意書き (GHS JP)

安全対策

: ミスト、蒸気を吸入しないこと。(P260)
取扱後は手をよく洗うこと。(P264)
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
環境への放出を避けること。(P273)

応急措置

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。(P308+P311)
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。(P314)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)

廃棄

: 内容物／容器を地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所廃棄すること。(P501)

処理時の追加危険有害性

: 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
酸化セリウム	77	CeO2	(1)-627	既存化学物質	1306-38-3
フッ化セリウム (IV)	0.5	-	-	-	10060-10-3

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。

吸入した場合

: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

: 皮膚は多量の水で洗浄する。

眼に入った場合

: 予防措置として眼を水ですすぐ。

飲み込んだ場合

: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

急性症状及び発症性症状の最も重要な兆候及び症状

- | | |
|-----------------|---|
| 症状/損傷 吸入した場合 | ： 本製品から発生しうる粉じんは、吸い込み過ぎると呼吸器の炎症を引き起こす場合がある。
ヒト及び動物に対する毒性データは知見されていないが、本製品は吸入危険有害性と見なされる。 |
| 症状/損傷 皮膚に付着した場合 | ： 通常の条件下では特に無し。
粉じんは皮膚のひだまたは密着した衣服に接触することで刺激を起こすことがある。 |
| 症状/損傷 眼に入った場合 | ： 通常の条件下では特に無し。
本製品の粉じんは、目の炎症を引き起こす場合がある。 |
| 症状/損傷 飲み込んだ場合 | ： 通常の条件下では特に無し。 |

医師に対する特別な注意事項

- | | |
|-------------------|---------------|
| その他の医学的アドバイスまたは治療 | ： 対症的に治療すること。 |
|-------------------|---------------|

5. 火災時の措置

- | | |
|----------------|--|
| 適切な消火剤 | ： 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | ： 強い水流は使用しない。 |
| 火災危険性 | ： 火災の危険は一切ない。 |
| 爆発の危険 | ： 直接に爆発する危険は全くない。 |
| 火災時の危険有害性分解生成物 | ： 有毒な煙を放出する可能性がある。 |
| 消火方法 | ： 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
呼吸器の保護を含め、適切な保護装置を使用せず、火災現場に入らない。 |
| 消火時の保護具 | ： 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。 |

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

- | | |
|-------|--|
| 一般的措置 | ： 本製品が下水、または公共用水に流入した場合も、行政当局に通報する。
物的被害を防止するためにも流出したものを吸収すること。 |
|-------|--|

非緊急対応者

- | | |
|------|--|
| 保護具 | ： 推奨される個人用保護具を着用する。 |
| 応急処置 | ： 漏出エリアを換気する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 |

緊急対応者

- | | |
|------|---|
| 保護具 | ： 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。 |
| 応急処置 | ： 不要な職員を退避させる。 |

環境に対する注意事項

- | | |
|------------|-----------------|
| 環境に対する注意事項 | ： 環境への放出を避けること。 |
|------------|-----------------|

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- | | |
|--------|---------------|
| 封じ込め方法 | ： 漏出物を回収すること。 |
|--------|---------------|

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

浄化方法 : 製品は機械的に回収する。
その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし
安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

処理時の追加危険有害性 : 通常の使用条件下では、重大な危険有害性はないと思われる。

保管

安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料 : データなし
技術的対策 : 涼しくて、よく換気された場所で、熱から離して保存する。
容器包装材料 : 製品は必ず元の容器と同じ素材の容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

個人用保護具 : 推奨される個人用保護具を着用する。
呼吸用保護具 : 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。

機器	フィルタタイプ	条件	規格
使い捨て式空気浄化呼吸器(APR)		短期ばく露	

手の保護具 : 保護用手袋

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
使い捨て式手袋	ニトリルゴム (NBR) クロロプレンゴム (CR)	6 (> 480 分)	0,4-0,7		EN 374-2 EN ISO 374 EN ISO 374-1

眼の保護具 : 安全メガネ

タイプ	適用分野	特徴	規格
安全メガネ		サイドシールド付き	EN 166

皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用する。

タイプ	規格
	EN ISO 6529 EN ISO 20345

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 固体

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

色	: 茶色
臭い	: 無臭
pH	: 6 – 8
融点	: 2600 °C
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 7 g/cm ³
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません（第7項参照）。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない(分類対象外) (気体) 区分に該当しない(分類対象外) (蒸気) 区分に該当しない (粉じん、ミスト)

酸化セリウム (1306-38-3)	
急性毒性 (経口)	ラット LD50 値 ; >5000 mg/kg bw (IUCLID (2000)) に基づき区分外とした。
急性毒性 (経皮)	ラットに 2000 mg/kg bw の投与で死亡がなく、LD50 値 ; >2000mg/kg bw (IUCLID (2000)) に基づき区分外とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義による固体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データなし。

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酸化セリウム (1306-38-3)	
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	ラット LC50 値 ; >5.05 mg/L (OECD TG403) (IUCLID (2000)) に基づき、JIS 分類基準の区分外 (国連 GHS 分類区分 5 に相当) とした。なお、粒径 3 ミクロン以下が 85.4% を占める (IUCLID (2000)) との記述から粉塵/ミストの基準値を適用した。
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 401 (急性経口毒性)
LD50 経皮 ラット	> 2000 mg/kg BW 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 402 (急性皮膚毒性)
LC50 吸入 - ラット	> 5.05 mg/l air 動物 : ラット、ガイドライン : OECD ガイドライン 403 (急性吸入毒性)
LC50 吸入 - ラット (粉じん / ミスト)	5.05 mg/l 出典 : IUCLID

皮膚腐食性／刺激性 : 区分に該当しない

Modesta - CC Cerium Compound	
pH	6 – 8

酸化セリウム (1306-38-3)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギに試験物質 0.5g を適用した試験 (OECD TG404) において刺激性なし (not irritating) 、およびウサギを用いた別の試験で皮膚一次刺激指数は 0.0 で刺激性なし (not irritating) の結果 (何れも IUCLID (2000)) に基づき区分外とした。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分に該当しない

Modesta - CC Cerium Compound	
pH	6 – 8

酸化セリウム (1306-38-3)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギの眼に試験物質 0.1g を適用した試験 (OECD TG405) において、刺激性なし (not irritating) (IUCLID (2000)) 、およびウサギを用いた別の試験で軽微な刺激性 (slightly irritating) (IUCLID (2000)) の結果に基づき区分外とした。

呼吸器感作性 : 分類できない

酸化セリウム (1306-38-3)	
呼吸器感作性	データなし。

皮膚感作性 : 分類できない

酸化セリウム (1306-38-3)	
皮膚感作性	モルモットを用いたマキシマイゼーション試験 (OECD TG406) で惹起後に感作性反応は認められず、感作性なし (Not sensitizing.) の結果 (IUCLID (2000)) であったが、List 2 のデータのため「分類できない」とした。

生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

酸化セリウム (1306-38-3)

生殖細胞変異原性

マウスの経口投与による骨髓細胞を用いた小核試験（OECD TG474）（体細胞 in vivo 変異原性試験）は陰性結果（IUCLID（2000））との報告に基づき、区分外とした。なお、in vitro 試験では、エームテストの結果は陰性（環境省リスク評価 第8巻（2010））と報告されている。

発がん性

：分類できない

酸化セリウム (1306-38-3)

発がん性

データなし。なお、US EPA は発がん性のリスク評価ガイドラインの下では、ヒトでの発がんの可能性を評価するにはデータが不十分である（IRIS（2009）Tox Review）としている。

生殖毒性

：分類できない

酸化セリウム (1306-38-3)

生殖毒性

データなし。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

：臓器の障害のおそれ(肺)

酸化セリウム (1306-38-3)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

ラットに 4.12～5.98 mg/L の濃度（粉塵）を 4 時間吸入ばく露した試験（OECD TG 433; GLP）において、2/10 匹に努力性呼吸と被毛の乱れ、全例の肺にびまん性のやや白い病巣を伴った不完全な虚脱が見られたとの所見（IUCLID（2000））に基づき、ばく露濃度はほぼガイダンス値範囲区分 2 の上限に相当していることから、区分 2（肺）とした。なお、経口投与試験では、ラットに 5000 mg/kg bw の投与で死亡はなく、正常な体重増加を示し、剖検でも異常は見られていない（IUCLID（2000））。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

：長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(肺)

酸化セリウム (1306-38-3)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

セリウム等の希土類元素ヒュームのばく露を長年に亘り受けた労働者の肺では希土類元素の蓄積が見られ、肉芽腫、気腫、間質の線維化の肺病変と肺活量の低下が報告されている（環境省リスク評価 第8巻（2010））。また、酸化セリウム研磨剤にばく露後少なくとも 15 年以上経過して、呼吸困難のため来院した 58 歳の男性に軽度の胸膜肥厚と肺閉塞が見られ、病理検査の結果、慢性肥厚性胸膜炎と診断された事例（環境省リスク評価 第8巻（2010））、35 年間光学レンズの研磨作業に従事し、離職後 13 年経過してから酸化セリウムのばく露に関連する希土類元素じん肺が判明した 68 歳男性の事例（PATTY（5th, 2001））など、希土類元素の肺における長期間の残留を示すものであり、酸化セリウムのばく露が関与しているとされる有害事象発生の報告は多い。一方、ラットに粉塵ばく露による 13 週間反復吸入試験において、剖検では 5 mg/m³ 以上のほぼ半数で縦隔膜リンパ節の拡張、退色、全例で気管支リンパ節の変化、51mg/m³ 以上の全動物で肺の退色、組織検査では、5 mg/m³ 以上の雌雄の気管支リンパ節でリンパ組織増生、色素沈着、肺で色素沈着、51 mg/m³ 以上の雌雄の肺で肺胞上皮の過形成、咽頭で化生及び色素沈着がそれぞれ認められ（環境省リスク評価 第8巻（2010））、影響はガイダンス値区分 1 の範囲を含む。以上のヒトおよび動物の知見に基づき区分 1（肺）とした。

誤えん有害性

：分類できない

酸化セリウム (1306-38-3)

誤えん有害性

データなし。

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 水生生物に有害。
水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に有害
水生環境有害性 長期（慢性） : 区分に該当しない

酸化セリウム (1306-38-3)

水生環境有害性 短期（急性）	データなし。
水生環境有害性 長期（慢性）	データなし。
LC50 - 魚 [1]	77.556 mg/l 出典: QSAR
EC50 96h - 藻類 [1]	53.489 mg/l 出典: QSAR

フッ化セリウム (IV) (10060-10-3)

LC50 - 魚 [1]	6177.116 mg/l
EC50 96h - 藻類 [1]	585.521 mg/l
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	0.22 出典: EPA

残留性・分解性

Modesta - CC Cerium Compound

残留性・分解性 急速分解性でない

酸化セリウム (1306-38-3)

残留性・分解性 急速分解性でない

フッ化セリウム (IV) (10060-10-3)

残留性・分解性 急速分解性でない

生体蓄積性

Modesta - CC Cerium Compound

生体蓄積性 データなし

フッ化セリウム (IV) (10060-10-3)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) 0.22 出典: EPA

土壌中の移動性

Modesta - CC Cerium Compound

土壌中の移動性 データなし

フッ化セリウム (IV) (10060-10-3)

n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow) 0.22 出典: EPA

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : 分類できない

安全データシート

Modesta - CC Cerium Compound

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分	: 固体廃棄物については適用法令を遵守する。 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
廃棄方法	: 許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物／容器を廃棄する。
地域の廃棄規則	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
推奨下水処理	: 管轄当局の規制に準拠して廃棄する。
追加情報	: 空の容器を再利用しない。

14. 輸送上の注意

UN RTDG に準ずる

国際規制

国連勧告(UN RTDG)

国連番号(UN RTDG)	: 非該当
正式品名 (UN RTDG)	: 非該当
容器等級(UN RTDG)	: 非該当
輸送危険物分類 (UN RTDG)	: 非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報	: 補足情報なし
--------	----------

15. 適用法令

国内法令

労働安全衛生法	: 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 3 号別表第 9） 【改正後 令和 7 年 4 月 1 日以降】 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条の 2 第 1 項、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 3 号別表第 9）
水質汚濁防止法	: 有害物質（法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条）
化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法)	: 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1） セリウム及びその化合物 (管理番号 : 665) (63%) セリウム及びその化合物 (管理番号 : 665) セリウムとして(125%)
土壌汚染対策法	: 特定有害物質（法第 2 条第 1 項、施行令第 1 条）

16. その他の情報

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしているが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。